

# 週間漁海況情報—第47号

平成22年12月6日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

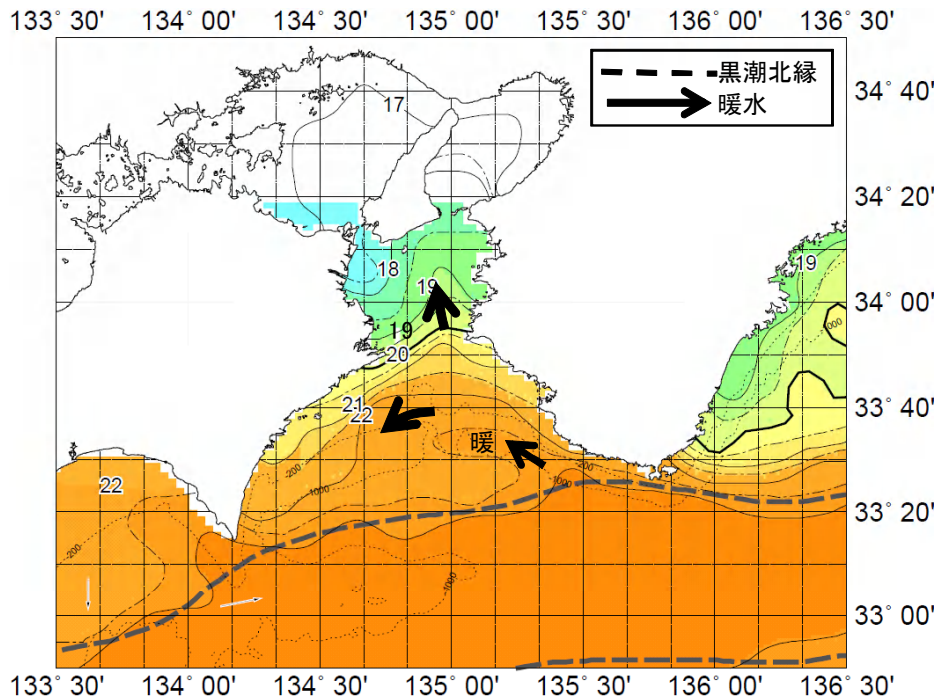
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.12.6）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、22～23℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で15～17℃台、紀伊水道で17～21℃台、海部沿岸で19～22℃台である。



紀伊水道外域では和歌山県沿岸から暖水流入があり、紀伊水道内まで達している。海部沿岸では、先週中頃以降下り潮になり、現在は上灘を中心に下り潮に覆われている。

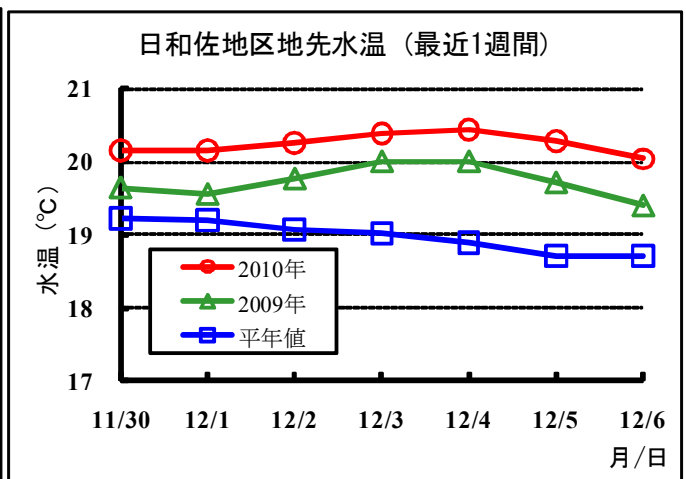
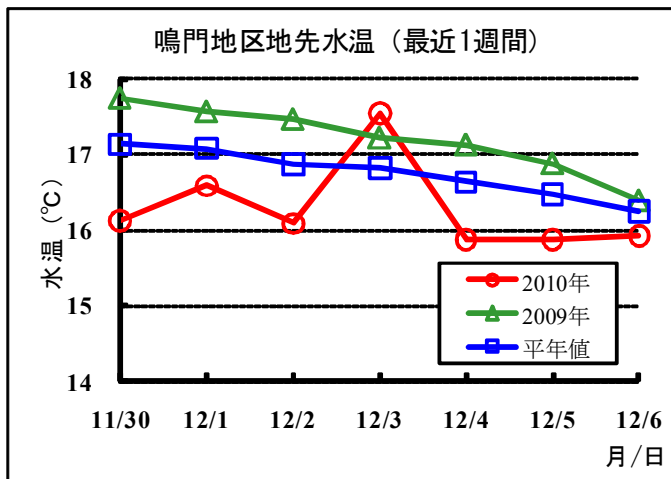
漁業調査船「とくしま」により12月1日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや高め」の17.7～17.8℃であった。

### 播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
12/1	今年値	17.8	17.7	17.7	17.8	32.4	32.4	32.4	32.4
	平年偏差	1.1	1.0	0.9	1.0	0.2	0.2	0.1	0.1
	前年偏差	-0.4	-0.5	-0.5	-0.4	0.0	0.0	-0.1	-0.1

**地先水温** 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「やや高め」の15.9～17.6℃、日和佐地区で「やや高め」～「高め」の20.0～20.4℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の20.5～21.9℃で推移した。

**他県情報** 宮崎県の大形定置網でブリが2.2トン（1日1隻・統あたり0.4トン）水揚げされた。



## 2. 海況の経過

**延縄**：海部沿岸で、大主体にアマダイが0.6トン（1日1隻当たり17kg）、カワハギが0.5トン（同60kg）、大主体にサバフグが1.4トン（同52kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で、アオリイカが2.0トン（同14kg）、キビナゴが0.5トン（同3kg）、大主体にタチウオが0.5トン（同4kg）、小主体にマルアジが0.3トン（同2kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸で、中・小主体にアオリイカが0.2トン（同62kg）、小主体にタチウオが0.7トン（同166kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で、アオリイカが0.7トン（同7kg）、特大主体にカツオが2.7トン（同275kg）、大主体にシイラが0.3トン（同46kg）、小主体にタチウオが0.8トン（同23kg）、ハマチが0.2トン（同14kg）、メジロが0.3トン（同9kg）、紀伊水道で大・中主体にサワラが0.3トン（同26kg）水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道で、シラスが9.4トン（同100kg）水揚げされた。

### 漁業種類別集計表（抜粋） 11月29日～12月05日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	38	627	17	大主体
		カワハギ	8	482	60	
		サバフグ	28	1,442	52	大主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	144	1,971	14	
		キビナゴ	144	459	3	
		タチウオ	144	524	4	大主体
		マルアジ	144	325	2	小主体
		アオリイカ	4	248	62	中・小主体
大型定置網	海部沿岸	タチウオ	4	663	166	小主体
		アオリイカ	99	735	7	
釣り	海部沿岸	カツオ	10	2,745	275	特大主体
		シイラ	6	278	46	大主体
		タチウオ	34	778	23	小主体
		ハマチ	15	206	14	
		メジロ	33	283	9	
		サワラ	13	333	26	大・中主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	94	9,375	100	

**週間予報**：黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の15～16℃台、日和佐地先は「やや高め」の18℃台後半～19℃台で推移する見込み。